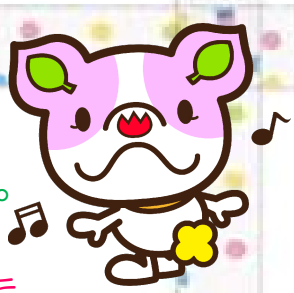

緑のサポーター交流広場「みどりのカフェ」レポート
５月３０日（水）**みどりのレッスン**を開催しました。

今回は、ギャザリストの鈴木達也先生から、
「花屋さんのホンネ！！苗の選び方・育て方とは？」を学びました。

初めに、花屋さんが苗を仕入れるときに気を付けていることをお話しいただきました。苗は生産者の作り方次第で後の生育が変ります。特に水やりで良し悪しが出るので、信頼できる生産者から仕入れるために、常に生産者めぐりをしているそうです。

次に、苗選びのポイントなどを教えていただきました。植物も人間と同じく、生（発芽）～死（枯死）まであるので、成長期の苗を買うことが大事だそうです。成長期を超えた苗を使うと、花数が少なくなり、野菜は実の数が少なく根の活着も悪くなるそうです。

花屋さんには、お客さんからいろいろな相談があり、「肥料も水もやっているのに元気がない」というのでよく話を聞くと、肥料や水の与えすぎだったということもあるそうです。また、「花や虫の名前を聞きに来る方は写真か現物をお持ちください」とのことでした。皆さんも気を付けてくださいね！

苗選びのポイント

- 苗の節間が詰まっている（間伸びしていない）
- 葉の色が黄色くなっていないもの
- 下葉がしっかりあるもの

悪い苗を植えて枯らして植え替えを繰り返すより、良い苗で長持ちさせましょう！

講義の後は、テーブルごとに寄せ植えの実習をしました。植え方は、中心にサルビア・ファリナセアを置き、周りに他の花苗を三角形に配置します。ブーケを作るように根本を寄せて外側に広がるよう植え付けるときれいに植えられます♪

夏場は蒸れるので風通しをよくするため、伸びたら切り戻しをして、形を整えながら、少しづつ伸ばしていくとよいそうです。